【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公開番号】特開2018-153043(P2018-153043A)
【公開日】平成30年9月27日(2018.9.27)
【年通号数】公開・登録公報2018-037
【出願番号】特願2017-49038(P2017-49038)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　50/80　(2016.01)
Ｈ０２Ｊ　50/10　(2016.01)
Ｈ０２Ｊ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　50/80
Ｈ０２Ｊ　50/10
Ｈ０２Ｊ　7/00　３０１Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和2年3月10日(2020.3.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
非接触で受電装置へ電力を供給する給電手段と、
非接触で他の給電装置より供給された電力を受電する受電手段と、
自装置をホスト側として前記受電装置と通信を確立した場合に、動作モードを前記他の給電装置から電力を受電する受電モードから、前記受電装置へ電力を供給する給電モードへ切り替える切替手段と
を有することを特徴とする給電装置。
【請求項２】
前記切替手段は、前記受電装置との通信が終了した場合に、前記動作モードを前記給電モードから前記受電モードへ切り替えることを特徴とする請求項１に記載の給電装置。
【請求項３】
自装置の２次電池の残容量を検出する検出手段をさらに有し、
前記切替手段は、前記残容量が第１閾値以上で、かつ前記自装置をホスト側として前記受電装置と通信を確立した場合に、前記動作モードを前記受電モードから前記給電モードへ切り替えることを特徴とする請求項１又は２に記載の給電装置。
【請求項４】
前記切替手段は、前記自装置の２次電池の残容量が第１閾値未満の場合には、前記受電モードから前記給電モードへの切り替えを行わないよう制御することを特徴とする請求項３に記載の給電装置。
【請求項５】
前記受電装置が備える２次電池の残容量の情報を受信する受信手段をさらに有し、
前記切替手段は、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値未満の場合に、前記動作モードを前記受電モードから前記給電モードへ切り替えることを特徴とする請求項１又は２に記載の給電装置。
【請求項６】

前記切替手段は、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値以上の場合には、前記受電モードから前記給電モードへの切り替えを行わないよう制御することを特徴とする請求項５に記載の給電装置。
【請求項７】
前記切替手段は、前記給電モードに設定されている場合において、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値以上になった場合に、前記動作モードを前記給電モードから前記受電モードに切り替えることを特徴とする請求項５又は６に記載の給電装置。
【請求項８】
給電装置の制御方法であって、
非接触で受電装置へ電力を供給する給電ステップと、
非接触で他の給電装置より供給された電力を受電する受電ステップと、
自装置をホスト側として前記受電装置と通信を確立した場合に、動作モードを前記他の給電装置から電力を受電する受電モードから、前記受電装置へ電力を供給する給電モードへ切り替える切替ステップと
を含むことを特徴とする給電装置の制御方法。
【請求項９】
前記切替ステップは、前記受電装置との通信が終了した場合に、前記動作モードを前記給電モードから前記受電モードへ切り替えることを特徴とする請求項８に記載の給電装置の制御方法。
【請求項１０】
自装置の２次電池の残容量を検出する検出ステップをさらに含み、
前記切替ステップは、前記残容量が第１閾値以上で、かつ前記自装置をホスト側として前記受電装置と通信を確立した場合に、前記動作モードを前記受電モードから前記給電モードへ切り替えることを特徴とする請求項８又は９に記載の給電装置の制御方法。
【請求項１１】
前記切替ステップは、前記自装置の２次電池の残容量が第１閾値未満の場合には、前記受電モードから前記給電モードへの切り替えを行わないよう制御することを特徴とする請求項１０に記載の給電装置の制御方法。
【請求項１２】
前記受電装置が備える２次電池の残容量の情報を受信する受信ステップをさらに含み、
前記切替ステップは、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値未満の場合に、前記動作モードを前記受電モードから前記給電モードへ切り替えることを特徴とする請求項８又は９に記載の給電装置の制御方法。
【請求項１３】
前記切替ステップは、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値以上の場合には、前記受電モードから前記給電モードへの切り替えを行わないよう制御することを特徴とする請求項１２に記載の給電装置の制御方法。
【請求項１４】
前記切替ステップは、前記給電モードに設定されている場合において、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値以上になった場合に、前記動作モードを前記給電モードから前記受電モードに切り替えることを特徴とする請求項１２又は１３に記載の給電装置の制御方法。
【請求項１５】
コンピュータを、
非接触で受電装置へ電力を供給するよう制御する給電制御手段と、
非接触で他の給電装置より供給された電力を受電するよう制御する受電制御手段と、
自装置をホスト側として前記受電装置と通信を確立した場合に、動作モードを前記他の給電装置から電力を受電する受電モードから、前記受電装置へ電力を供給する給電モードへ切り替える切替手段と
して機能させるためのプログラム。

【請求項１６】
前記切替手段は、前記受電装置との通信が終了した場合に、前記動作モードを前記給電モードから前記受電モードへ切り替えることを特徴とする請求項１５に記載のプログラム。
【請求項１７】
自装置の２次電池の残容量を検出する検出手段をさらに有し、
前記切替手段は、前記残容量が第１閾値以上で、かつ前記自装置をホスト側として前記受電装置と通信を確立した場合に、前記動作モードを前記受電モードから前記給電モードへ切り替えることを特徴とする請求項１５又は１６に記載のプログラム。
【請求項１８】
前記切替手段は、前記自装置の２次電池の残容量が第１閾値未満の場合には、前記受電モードから前記給電モードへの切り替えを行わないよう制御することを特徴とする請求項１７に記載のプログラム。
【請求項１９】
前記受電装置が備える２次電池の残容量の情報を受信する受信手段をさらに有し、
前記切替手段は、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値未満の場合に、前記動作モードを前記受電モードから前記給電モードへ切り替えることを特徴とする請求項１５又は１６に記載のプログラム。
【請求項２０】
前記切替手段は、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値以上の場合には、前記受電モードから前記給電モードへの切り替えを行わないよう制御することを特徴とする請求項１９に記載のプログラム。
【請求項２１】
前記切替手段は、前記給電モードに設定されている場合において、前記受電装置の前記２次電池の残容量が第２閾値以上になった場合に、前記動作モードを前記給電モードから前記受電モードに切り替えることを特徴とする請求項１９又は２０に記載のプログラム。